

「夏」

校長 新妻 茂

「夏」の風物詩と言えば、夏の甲子園大会（全国高等学校野球選手権大会）があります。1915年の第1回全国中等学校優勝野球大会から数えて、今年が第100回記念大会となります。第1回の大会では、決勝で秋田中と京都二中が対戦し、京都二中が優勝しています。それ以降、東北の学校が決勝戦まで進むことは昭和44年の第51回大会までありませんでした。

昭和44年の第51回大会では、大田幸司投手（元・近鉄バッファローズ投手）を擁する青森・三沢高校が決勝に進出し、松山商業と延長18回引き分け再試合という激闘がありました。結局翌日の再試合で松山商業が4対2で勝ち、優勝しました。中継のアナウンサーは「深紅の大優勝旗は白河の関を越えることはありませんでした」と言っているのを耳にしました。この時、私は中学2年生でした。「東北の高校も決勝戦まで進出できるようになったんだ」と、人ごとのように思っていました。

昭和46年、晴れて私は高校生になりました。いきなり担任から「生徒会規約だから学級から1名応援団員を出さなきゃいけないんだけど、新妻やってくれないか」と言われ、渋々引き受けることになりました。以下は生徒向けの「夏休みのしおり」に書いてあることです。

野球部は春の地区大会でもぱっとしないので、夏の福島県大会も1回戦で負けるだろうと高を括っていました。夏休みは学習の遅れを取り戻すために使えと思っていました。

ところが蓋を開けてみると、あれほど弱かった野球部が負けないのです。県大会、東北大会を勝ち抜き甲子園に出場することになってしまいました。それでも、初戦は東京代表の日大一高だからすぐに負けて帰ることになるだろうと思っていました。しかし、1対0で勝ってしまいました。次の試合も静岡学園に3対0で勝ってしまい、準決勝も奈良県の郡山高校に4対0で勝ってしまいました。アルプススタンドで正午の終戦記念日のサイレンとともに黙とうした記憶があるので、おそらく8月15日だったと思います。さぞや今頃、福島県民は狂喜乱舞していることだろうと思いつつも自分としては非常に複雑な思いでした。結局、決勝戦では神奈川の桐蔭学園に0対1で敗れました。応援団は京都の東寺洛南会館を宿舎としていたので、京都に10泊することになってしまい、京都五山の送り火を見ながらバスで帰途につきました。帰郷しても準優勝祝賀会等に駆り出され落ち着きませんでした。良くも悪くもこれが私の一番思い出に残っている「夏」です。

この「夏」、本校のバレーボール部、サッカー部（母島合同チーム）、バドミントン部、テニス部が内地へ遠征します。なかなか小笠原にいると他地域の中学生と試合をする機会がありませんが、同じ中学生がやることですので、何が起こるか分かりません。ぜひ、気後れすることがないようにプレーし、悔いのない「夏」にして欲しいと願っています。

深紅の大優勝旗は飛行機で津軽海峡を越えてしまいましたが、陸路では白河の関を越えていません。もうすでに沖縄や北海道では予選が始まっていますが、今年の「夏」はどうなるのでしょうか。

7 8月の主な行事予定

7月	18日(水) 終業式 壮行会 大掃除
2日(月) 学校公開(始)(6日まで)	バレー部・サッカー部遠征出発
3日(火) 三者面談(始)(12日まで)	19日(木) 振替休業日(14日分)
4日(水) 芝生の日	20日(金) 振替休業日(16日分)
5日(木) 都学力調査(2年)	21日(土) バレー部島しょ大会
10日(火) 避難訓練	バドミントン部遠征出発
12日(木) お弁当の日	22日(日) サッカー部島しょ大会
父母中学校交流会(14日まで)	24日(火) バドミントン部都大会(27日まで)
14日(土) 遠泳大会	8月
16日(月) 海の日 学校公開 セーフティ教室	29日(水) 夏季補習授業(始)(31日まで)
	※9月3日(月) 2学期始業式

母島移動教室を終えて

～19人のPIECE～

6月5日から7日まで、第一学年は母島移動教室に行ってきました。

中学校に入学してから初めての宿泊行事で、大きな意味を持った3日間。この大切な行事を有意義なものにするためにまず取り組んだことが事前学習です。ただ現地へ赴くのではなく、事前に学習し、その上で出てきた疑問や興味・関心を持って母島に行くために取り組んだ学習でした。一人一人にテーマが振り分けられ、そのテーマについてレポートを作成し、教室で発表会をしました。生徒達は自ら主体的に取り組んでおり、レポートの発表会もとても良いものに仕上がっていました。この事前学習を経て、生徒全員の母島への期待がふくらんでいく様子がうかがえました。

今回、担任として生徒達に経験して欲しかったことは「自分達で行事をつくり、成功させる」ということです。そのために一ヶ月以上前から実行委員を発足し、放課後の時間を利用して様々な事を生徒と共に企画していきました。しおりの読み合わせから本番の行程の進行まで、全てにおいて実行委員を中心に、つまりは生徒を中心につくりあげていきました。

実行委員がそれらの準備をしていく様子を見て、他の生徒達にも実行委員の意気込みが伝わったのか一人一人の意識が高くなっていく様子や、責任感の芽生えを感じました。実行委員が考えた「PIECE～みんなでパズルを完成させよう～」というスローガンのとおり19人全員がパズルのピースという自覚を持って本番を迎えることができました。

移動教室本番では、毎年心配される天気も、良すぎるぐらいに晴れ渡り、ほぼ全ての行程を予定通りに行うことができました。気が滅入るほどの暑さの中でも訪問先の方々の話をまっすぐに聞き、垂れる汗にかまうことなく必死にメモを取る姿に感心しました。

各行程が進んでいく中、大人に全て指示を出されて動くいわゆる「指示待ち」ではなく、しおりを確認しながら自ら考えて行動し、声をかけあって協力し、自分達でつくりあげることができました。そんな今回の移動教室は、小学生の時より少しレベルの高いものにできたのではないかと思います。

この行事で得たたくさんの経験と成長を、学習発表会で保護者・地域の皆さんにお伝えします。そのときに19人のPIECE全員が輝きを放ち、その輝きをつなげ合わせて最高のパズルを完成させた時、初めて今回の移動教室が「大成功だった」と言えるのだと思います。その時までこれからも変わらずにクラスの一人一人、大切なPIECEを見守っていきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

今回ご協力いただき、支えていただいた保護者の皆様、また母島の皆様方に改めて感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございました。



定期健康診断終了について

4月からスタートした健康診断が、全ての項目が終了しました。結果については、健康カードを配布し、お伝えしているところです。病気や異常が見つかった人で、まだ治療等が終了していない人は、早めに受診してください。保護者の皆様、問診票のご記入や病院受診など、ご協力ありがとうございました。

島しょという環境の中でも、内地の子どもたちと同じように健康診断が行えることは、診療所や保健所、村教育委員会、小・高の養護教諭、地域の医療機関の皆様のおかげです。たくさんの方が、小笠原の子どもたちの健康を支えてくださっています。

学校では、ただ健康診断を実施して終わるのではなく、この結果を保健指導・保健学習に活用していきたいと思っています。子どもたちの健康と安全をこれからも支えていきたいと思っています。

プール開き

5月16日（水）の3、4時間目に毎年恒例のプール清掃が実施されました。1年生は主にゴミ拾いや運搬。

2年生は壁を磨き、3年生はプール槽を磨く作業をしました。生徒の皆が熱心に取り組んでくれたため、予定より早く作業が進んだので、最後にはプール槽を学年ごとにエリアを区切り、どの学年が1番キレイにできるのか、名づけて「学年対抗床磨き選手権」を行いました。副校長先生に判定していただき、結果は見事最高学年の力を示した3年生が優勝しました。皆楽しそうに取り組んでいました。生徒達のおかげでプールは見事に綺麗な姿を取り戻し、現在は満水になった水面がキラキラと輝いています。

自分たちが学ぶ場を、自分たちで清掃することは、学校教育の一環としても大きな意味を持っています。その意義を理解し、一所懸命取り組んでくれた生徒達が、授業の中でも事故無く安全に学んでいけるように指導に当たっていきます。

ノロ落とし

6月2日(土)、晴天に恵まれ、予定通り青灯付近のノロ落としが実施されました。中学生は保護者や地域の皆さん、小学生、教員とひとつになってノロを落としました。当日朝早くからダイバーの皆さんによりブイ・フロートの設置が行われました。ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。今、生徒達が泳いだり、飛び込んだりしている様子を見ると、地域に支えられ成長していくのが父島の子供なのだと思います。今年も感謝の気持ちを忘れず、十分に気をつけて遊泳してほしいです。

救急救命講習(全校 6月1日)

本校では、プールや海に入る時期になる前に、全校生徒対象として、救急救命講習を毎年実施しています。今年も、各学年1時間ずつ、胸骨圧迫の確認、AEDの使い方について学習しました。人工呼吸は、抵抗がある場合は省略して良いこと、死戦期(しせんき)呼吸に注意すること、父島内でAEDのある場所の把握しておくことなども確認しました。

驚いたことは、学年が上がるにつれ、胸骨圧迫の技術が目に見えて向上していることです。感想では、「1年経つと忘れてしまうこともあるので、毎年やることは大事だと思った。」「いざというときに備えて、全部できなくても、何か行動できる人になりたい。」などがありました。もしもの時に、大切な人を守る勇気と技術を持つ人であって欲しいです。

くれぐれも水の事故には気をつけて、これからの海のシーズンを楽しんで欲しいと思います。

小笠原諸島返還50周年記念式典・小笠原諸島返還50周年記念祝賀パレード

6月30日(土)小笠原中学校は小笠原諸島返還50周年記念式典・小笠原諸島返還50周年記念祝賀パレードに参加しました。有志を募り、学年ごとに小笠原ならではの横断幕を作り、パレードで披露しました。沿道の人からお褒めの言葉もいただきました。また、パレードの後は式典に参加しました。

この50年の歴史を実感し、中学生の皆さんが次の50年に向けて大きく羽ばたいてほしいと願います。

※パレードで披露した横断幕は二見港船客待合所に8月末日まで掲示されます。

～学校より～

4月6日始業式、4月9日入学式から始まり、5月の修学旅行、6月の母島移動教室、期末テスト、小笠原諸島返還50周年記念式典、小笠原諸島返還50周年記念祝賀パレード参加と本当に早い1学期です。ここまで無事に教育活動が進みましたこと、保護者や地域の方々のご理解とご協力の賜と、改めて感謝申し上げます。

さて、もうすぐ生徒が待ちに待った『夏休み』に入ります。終業式翌日7月19日(木)から始業式前日9月2日までは46日あります。長い期間になります。また、観光の方が増え、島の中がにぎわう毎日になるかと思っています。健康で交通事故等のない安全な生活をおくり、充実した夏休みになるようお願いいたします。

8月は【校庭芝生の養生期間】です。校庭は『立ち入り禁止』になりますのでご理解をお願いします。